

# ホテルで ゆっくり過ごさ

天平

osusume point

## 『猿沢池』

sarusawa-ike

### 見つけ ました!!!!

絶景スポット

ホテル目の前の猿沢池

徐々に移ろいでいく空の色や模様が鮮明に映し出されます

時間と共にゆっくりと変化する様を眺めているのもなんと

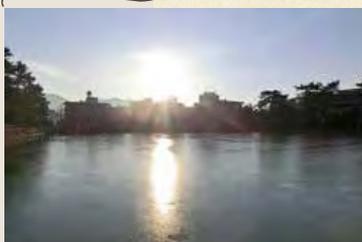
贅沢な時間です

### 1 猿沢池と月

古くから「猿沢池の月」と称される美しい夜景



### 2 1日の始まり



### 3 逆さ世界遺産



### 4 移り変わる 空模様



風にたなびく垂れ柳の風情

朝日や  
夕焼け...  
様々な表情を  
楽しめます



猿沢池には「鹿」もお散歩にやってきます 🦌🦌🦌

鹿は可愛い!でも...近すぎるのは「ちょっと苦手」

ソーシャルディスタンス希望の時は!

こんなハンドサインをお試ください♪





osusume point

# ホテルのテラス

terrace

ホテルのテラス

天平ホテル

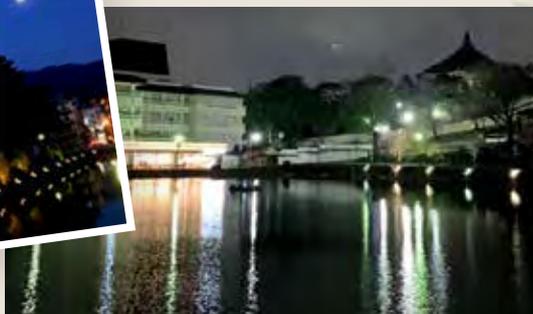
2F

## ホテル内で世界遺産

世界遺産が見えるテラス。ならまちの風情を

感じながらちょっとおしゃべり。少し上から見渡せる

猿沢池や五重塔もおすすめです。



osusume point

# スターバックスコーヒー

奈良猿沢池店

starbucks

私の好きなドリンク

## カモミールラテ

5種類の茶葉からお選び  
いただけるティーラテ。

その中でも「カモミール」が  
1番のお気に入り♪ほうじ茶  
ラテも大好きです

## ホテル内カフェでゆっくり

1Fロビーからそのまま移動できます。

ホテル宿泊のお客様なら2Fテラスに

持ち込みOKです!

スターバックスコーヒー  
奈良猿沢池店

☎ 0742-93-4665  
🕒 08:00 ~ 21:00 不定休

ココ!

スターバックス

エントランス

ロビー

ギャラリー

フロント

天平ホテル

1F



猿沢池に伝わる采女の「悲恋伝説」ゆかりの神社



# 采女神社

うねめじんじゃ

ホテル出入り口を出て  
すぐ右手！

当ホテル

スターバックス

★ 残念ながら……通常時は  
無人であり、門扉も閉ざされ  
ているため、通常時は境内地  
に立ち入る事ができません。



あれっ!?

本堂の向きが……??



## 春日大社 末社 采女神社の例祭

うねめまつり

# 采女祭り

問合せ:

采女祭保存会(奈良市観光協会内)

0742-30-0230 ※平日のみ

采女祭りは室町時代以降の約 600 年間、奈良市の伝統行事として受け継がれている采女神社の例祭です。現在は命日の時期とされる中秋の名月に本祭が執り行われています。

奈良市中心部の商店街などを練り歩く花扇奉納行列と、その後に猿沢池で行われる船が猿沢池に浮かぶ 40 余りの流し灯籠の間をぬって池をめぐる最後には花扇を池中に投じる雅やかな管絃船の儀など、奈良時代や平安時代の衣装や船を見ることができます。



我妹子が 寝くたれ髪を 猿沢の

池の玉藻と 見るぞ悲しき

拾遺集 柿本人麻呂

## 悲恋伝説

「大和物語」によると、奈良に都があった頃、一人の采女がある帝の目にとまり、お側に召され愛された。しかし一度だけでそのあと二度と召されることはなかった。毎日毎日待ち続けたが叶うことはなく、とうとう采女は帝の愛を失ったことを悲観し、猿沢の池のほとりの柳に衣を掛けて、そのまま入水してしまったのである。この霊を慰めるために建てられたのがこの社であるが、ところが采女の霊は、自分が身を投げた池を見るのが辛かったのだろうか、一夜のうちに自ら社殿を反対に向けてしまったという。

祠が池に背中を向けているということは西、つまり、帝の住む平城宮の方を向いている。采女は今も帝に恋焦がれているのかもしれない。



猿沢池に面した側には鳥居が設けられていますが、本殿は、鳥居に背を向けてしまっています。

猿沢池に身を投げた采女を祀っているにも拘らず、池や鳥居には背を向ける形になっており、一般の神社ではありえないような構造となっています。

これは采女の霊が自らが身を投げた池を見る事が忍びないとして、自ら社殿を西向きにしたという伝承が伝わっています。

本殿を「正面」から望むと、向こう側に鳥居と池が見えます。お祈りする際は「猿沢池」に向かってお祈りするような格好になります。



CHECK!!

## 縁結びの神様



「悲劇」の伝説に由来する采女神社ですが、現在は「縁結び」の神様、パワースポットとしての扱いがなされている場合もあり、神社でも「恋みくじ」や「采女えんむすび守」を授与しています。通常時は入る事ができない神社ですが、采女祭り当日をはじめ時折神社が開放される場合があり、その時に「えんむすび守」などの授与が行われます。

🕒 次の狙いめは 9月です！



世界遺産まで歩いてすぐ！



ちょっとお散歩

ホテルから

徒歩 5分

おすすめならまち

奈良のレトロな観光拠点「鹿の舟」

# 興福寺 五重塔

世界遺産

京都の東寺五重塔に次いで日本で2番目に高い塔。  
間近で身上げると壮大で迫力満点！  
市内で1番高い建造物は奈良のシンボルとして親しまれています。

法相宗大本山 興福寺  
〒630-8213  
奈良市登大路町48番地  
拝観時間9:00～17:00  
(入堂、16:45まで)

730年  
興福寺を創建した  
藤原不比等の娘  
光明皇后の発願で  
創建

国宝  
五重塔  
ごじゅうのとう

国宝  
東金堂  
とうこんどう



夕日の時間帯でも  
素敵です



他にも  
見どころ  
たくさん！



所要時間別のおすすめコースは次のページでご紹介！！



ちょっとお散歩

時間別  
興福寺

他にも  
色々見たい!

## 30分コース

せっかく奈良に来たんだから、いろいろ観光してまわりたい!!

1  
中金堂

2  
五重塔

阿修羅像など  
仏像をじっくり  
見たい!!

## 2時間コース

せっかく興福寺に来たんだから、  
有名な仏像は見ておきたい!そんな方は  
ぜひ国宝館へ。

1  
中金堂

2  
五重塔

3  
東金堂

4  
国宝館

## 1 中金堂

● 通年見学可・有料

国宝 木造四天王立像

重要文化財 木造薬王・薬上菩薩立像厨

子入り木造吉祥天倚像

木造大黒天立像

寺院拝観時はまずはご本尊へのお参りが礼儀!

堂内への入場は有料ですが、本当に時間が無ければ外観(無料)だけでも!荘厳な建築に圧倒されます。採色したての赤い柱と緑色の格子は見事です。



### POINT. 01 国宝・四天王立像

本尊を四方から囲むようにしてお護りする4軀の仏像、  
国宝・四天王立像の迫力は圧巻!

### POINT. 02 71,000枚の瓦

延べ9,000人の職人が3年をかけて用意し算かれた中金堂の屋根を軒下から瓦を見上げると、あちこちで一般の方が瓦を寄進する際に書いた「願文」の墨文字が「はみだして」いるのが見つかります。人々の想いが伝わってくるようですね。

### POINT. 03 屋根で輝く鴟尾

屋根の上で輝く、一對の鴟尾。水害を防ぐ魔除けとも考えられています。屋上にあるため小さく見えますが、鴟尾の高さは2.03m!正面に向かって左(西)にある鴟尾の背面には「天平の風彌り、鴟尾、光を放ち…」と中金堂の再建を祝い、安寧を祈る内容の銘文が刻まれています。カメラや双眼鏡のズームなども駆使して、ぜひご覧ください。



## 2 五重塔

国宝 奈良のシンボルタワー

● 外観のみ  
通年見学可

高さ51メートル、京都の東寺の五重塔に次いで日本で2番目に高い塔です。奈良時代の特徴を残しつつ、中世の豪快な手法も取り入れられているこの塔は、絶好の撮影スポット📷です。



## 3 東金堂

国宝 本堂を守護する国宝 四天王の迫力!

● 通年見学可。  
有料

所要時間  
約15~  
30分

726年に聖武天皇が、元正天皇の病氣回復を願って作られた薬師如来(重要文化財)が本堂として納められています。本尊はおおらかな姿の如来像ですが、鋭いまなざしの少年のような国宝の木造文殊菩薩坐像も安置されていて、かつては文殊堂とも呼ばれていました。他にも鎌倉時代に作られ12体すべてが現存する木造十二神将立像(国宝)や平安時代の四天王立像もあり見どころは満載です。何より、入ってすぐの空気が変わる感覚。当時の時代にタイムトリップしたような不思議な感覚を体験してみてください。



## 4 国宝館

有名な阿修羅や  
金剛力士像に会える

● 通年見学可。有料

興福寺は国宝彫刻を日本で一番多く所蔵し、その多くを国宝館で収蔵、公開しています。教科書などで見たことのある仏頭、1度は耳にしたことのある阿修羅像や金剛力士像など至宝が集結された場所。特に阿修羅像が興福寺を出て美術館などに展示される時は大行列になります。この国宝館でゆったりと見られるのは興福寺ならではです。また、奈良

時代に作られ当時のまま奇跡的に現存している阿修羅像をじっくり見ると、1300年の時を超えてうっすらと当時の色彩が残っているのがわかります。

ここでしか買えない阿修羅像グッズも!



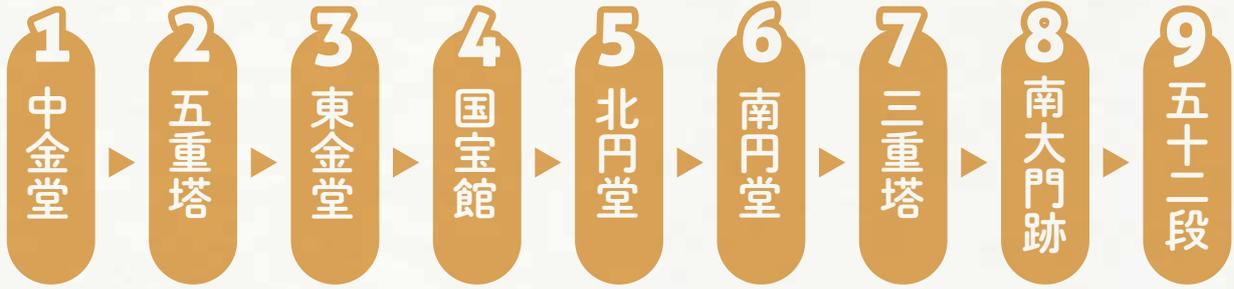
所要時間  
約1時間



興福寺の歴史をもっと知りたい!!

1300年の歴史を体感する

# 3時間コース



## 周辺ならまちを散策するコースはいかがでしょうか♪

北円堂、南円堂、三重塔の内部は通常一般公開されていない為、散策しながら外観を見ることになりますが、興福寺は平城京の東端にある大地の上に立っており、かつては北円堂の場所から平城京が一望できたそうです。そんな場所で少し、歴史に心を寄せみるのもいいものです♪そして、そのまま猿沢池の方まで散策してみると、もう一つ、興福寺ならではの体験ができます。通常、寺院は門があり、そこに入って本尊を納めた本堂へ至るわかりやすい道筋があります。一方、興福寺は1300年の歴史を持つ名刹であるにも関わらず、正門が無く、境内と周囲の町並みに敷地境界となる塀もない、どこまでが敷地なのかわからないほど隣接した東向商店街や春日神社、奈良公園に興福寺が溶け込んでいることにもここならではの魅力があります。

### 5 興福寺で最も古いお堂 北円堂

国宝  
● 外観のみ通年見学可。  
春季、秋季に特別公開あり



日本に現存する八角円堂のうち、「華麗で力強く最も美しい」と賞賛されるこの堂は興福寺の創建者、平城京造営の推進者であった藤原不比等の1周忌にあたる721年に建てられました。興福寺の中でも平城京を一望の下に見渡すことのできる1等地で霊を慰める最良の場所でした。

内陣の天井には中央の大蓮華より光を放つ天蓋(てんがい)が輝き、組物間の小壁ある彩色された笈形(おいがた)が特徴的です。現在の堂内には本尊である弥勒如来(みろくによらい)坐像を中心に、無著(むじゃく)・世親(せしん)菩薩立像をはじめとして、木心乾漆四天王立像などが安置されます。



### 7 平安時代の美しさを備えた 三重塔

国宝  
● 会館のみ通年見学可。  
年に1回 7月7日のみ内部公開



現存する興福寺の建物の中で北円堂とともに最も古いもの。初層内部に薬師如来、釈迦如来、阿弥陀如来、弥勒如来が各1000体仏が描かれ、これは興福寺の三重塔独特のもので、他に例はありません。木割が細く軽やかで優美な線を醸し出した平安時代の美しさををいまに伝えている貴重な建物です。



### 8 礎石と敷石がその大きさを忍ばせる 南大門跡

三条通りに面しているところにある礎石は南大門跡です。境内でいうと中門跡のすぐ前になります。南大門跡は境内の史跡では唯一、年中行事に使用されている場所であり、毎年5月の第三金・土に薪御能の舞台や12月のおん祭りでは南大門交名の儀で僧兵が並びます。



南大門交名の儀

### 6 八角形の朱色がきれいなお堂 南円堂

重文  
● 年に1度 10月17日のみ内部公開



813年に内麻呂の冥福を願って建てになったお堂で、1996年(平成8年)に修理が完了し、朱色が鮮やか、「西国三十三所」の第九番札所として人々の参拝が多い御堂です。本尊像の「不空羂索観音菩薩坐像」(国宝)が身にまとう鹿皮は、藤原氏の氏神春日社との関係で特に藤原氏の信仰を集めたようです。また、南円堂に向かってすぐ右手もご覧ください。小さなお堂ですが「一言だけ」願いを聞き入れてくれるという観音様がお祀りされています。「一言観音堂」がごぞいます。

### 9 仏道の修業の段階 五十二段

猿沢池の東側から興福寺五重塔へ上がる幅広い石の階段を五十二段といいます。名前のとおり52段あり、仏道の修業の段階を表しているといわれています。



『 かわいいお猿で厄がサル !!

# 身代わり申



調査してみました!

ならまちを散歩していると、あちらこちら軒下に、赤くて丸い物体がぶら下がっているのを見かけます「なんだ!?あれ?」と思ったんで調べてみました♪  
これは、災いを代わりに受けてくれる『身代わり申(さる)』なんですって☆  
近づいてよく見てみると・・・お猿さんです!「魔よけみたいなもので、家の中に災難が入ってこないように吊るしている」らしいです「身代わり申」は、実は観光客の方でも「お守り」としてご購入頂くことができます。



## 奈良町資料館でGET!



身代わり申は「庚申堂」から北にすぐの位置にある「奈良町資料館」で販売中。

この資料館は、幻の「レインボーラムネ」を販売している施設としても知られていますが、ここの資料館に入ってみると4cmほどの小さなものからジャンボクッションソファのような特大サイズまで、所狭しと並んでいます。



●奈良町資料館10~17時 年中無休 0742-22-5509



いろいろな身代わり申と出会えます!



申の背に書き入れてもらった願い事は、1年間、毎月初めにご祈祷してもらえます



## 起源は江戸時代から

江戸時代に庶民の間に広まった「庚申信仰」の名残で、申の数は、昔は家族の人数分でしたが、今では「ご縁があるように」と、5つにするところが多いそうです。背中に「家内安全、無病息災、商売繁盛」など、願いごとを書いて吊ると願いが叶うとも言われています吊るす場所は軒先だけでなく、玄関や部屋の入口でも大丈夫。「願いが叶いますように」と、毎日触るといいそうです。

真っ赤なおサルさんがくると体を丸めたかわいいフォルムに、きつと癒しと元気をもらえますよ。

約1年間取りつけた後や、身代わり申が落ちたり、紐が切れたりした場合は、自分が受けるべき災難を申が引き受けてくれたと理解して新しいものに取り替えます。古い身代わり申は、以前は「庚申堂」へ持って行くと、お焚きあげして供養してくれていました。今はその役割は奈良町資料館が担っています。



こうしんどう

## 庚申堂

ホテルから  
徒歩 10分

「庚申さん」とよばれる青面(しょうめん)金剛像がまつられています。この「庚申」さんのお使いの猿を型どったお守りが「身代わり申」です。庶民の魔除け庚申信仰の拠点となります



手書きMAP真ん中より少し下

〒630-8334  
奈良県奈良市西新屋町  
問合せ:奈良観光センター  
0742-22-3900

